

<令和5年3月定例記者会見>

1 開催日時

令和5年3月1日（水）午前10時から午前10時10分まで

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、盛岡タイムス社、読売新聞社

4 発表事項

（1）滝沢市指定文化財の新規指定と認定書交付式について（教育委員会事務局文化振興課）

1月20日滝沢市文化財調査委員会の答申を受けまして、2月27日（月）に教育委員会において、天然記念物「カワシンジュガイ」、無形民俗文化財「滝沢市さんさ踊り」、「大沢さんさ踊り」の3件を新たに市の指定文化財に指定いたしました。これにより市指定文化財は15件から18件となります。

なお、本日の記者会見終了後10時30分より、庁舎2階の大会議室にて、新規指定無形民俗文化財「滝沢市さんさ踊り」、「大沢さんさ踊り」の各保存団体に対し、認定書の交付式を行いますので、よろしくお願いいたします。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：さんさ踊りに関する市指定文化財への指定は、今回が初めてですか。

文化振興課総括主査：はい。

記者：市内にはどのくらいさんさ踊りの保存団体がありますか。

文化振興課総括主査：保存団体として登録されている大きい団体が2団体、小さい団体としては一本木さんさや子どもたちによる元村こどもさんさという団体があります。

記者：滝沢市さんさ踊りが市内では最大の団体ですか。

文化振興課総括主査：そのとおりです。次が大沢さんさ踊りとなります。

記者：市長へお聞きしますが、さんさ踊りを指定することによる保存継承への効果や期待はありますか。

市長：コロナ禍にあっても各世代の子どもたちからお年寄りまで踊りを守ろうと活動してきたものと思います。そこにさんさ踊りに対する深い思いを感じています。これまで滝沢市に根付いてきたさんさ踊りが、地域の中で継承されること、そして市民の皆さんに楽しんでいただける環境がさらに整うと感じています。このあと、他のさんさ踊りの保存団体に対しても、活動の様子を通じて世代交代を図りながら踊りを継承できるかなど、色々な形で効果が及ぶのではないかと考えています。

記者：指定による今後の取り組みはありますか。

文化振興課総括主査：箔が付くことが大きい点です。市指定になったことで、色々な発表の場について依頼があった際に紹介するなどし、そうしたことで団体が発表する場を増やして盛り上げていきたいということが一番です。

6 その他記者からの当日質問

特になし。